

社会資本総合整備計画(第1回変更)

へぐりえきしゅうへん
平群駅周辺地区 都市再生整備計画

なら 奈良県 へぐりちょう 平群町

平成30年11月

(様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成30年11月 日

計画の名称	平群駅周辺地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当																							
計画の期間	平成29年度～平成31年度 (3年間)					交付対象	平群町																											
計画の目標	<p>本地区は、町役場を含むシビックゾーンとして、商業・業務・文化機能が集積する町の中心市街地として機能してきた。これまでもハード・ソフト面で様々なまちづくりを展開してきたが、老朽化した建物、狭隘な道路、浸水等の災害対策面で十分でない環境があった。これらを改善するため平群駅西特定土地区画整理事業を行い、都市機能の充実に向けた市街地整備事業を実施し、幹線道路や駅前広場の都市基盤が整備されてきた。しかし、今後進展する少子高齢化・人口減少によりコミュニティ機能の希薄化が危惧されることから、更なる住民活動の支援強化やコミュニティ活動の場の整備が求められている。また、公民館などの公共施設の老朽化対策と併せてまちづくり活動を推進するための拠点施設の整備が急務であり、平群駅周辺の活力と賑わい創出のため、魅力ある公共空間の整備を図る。</p>																																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄平群駅における乗降客数を3,308人/日 (H27) から3,400人/日 (H31) に増加 公民館等利用者数を85,974人/日 (H27) から100,000人 (H31) の増加 平群駅周辺地区人口を1,503人/地区 (H28) から2,270人/地区 (H31) に増加 																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29当初)</th> <th>中間目標値 (H30末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>近鉄平群駅における乗降客数を測定する。</td> <td>3,308人/日</td> <td>3,350人/日</td> <td>3,400人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公民館等利用者数を測定する。</td> <td>85,974人/日</td> <td>90,000人/日</td> <td>100,000人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平群駅周辺地区人口を測定する。</td> <td>1,503人/日</td> <td>2,000人/日</td> <td>2,270人/日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)	近鉄平群駅における乗降客数を測定する。	3,308人/日	3,350人/日	3,400人/日		公民館等利用者数を測定する。	85,974人/日	90,000人/日	100,000人/日		平群駅周辺地区人口を測定する。	1,503人/日	2,000人/日	2,270人/日	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)																															
近鉄平群駅における乗降客数を測定する。	3,308人/日	3,350人/日	3,400人/日																															
公民館等利用者数を測定する。	85,974人/日	90,000人/日	100,000人/日																															
平群駅周辺地区人口を測定する。	1,503人/日	2,000人/日	2,270人/日																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,438百万円	A	2,438百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																						
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H29	H30	H31	H32	H33																					
A-1	都市再生	一般	平群町	直接	平群町	平群駅周辺地区都市再生整備計画事業	A=46.7ha	平群町						2,438	1.1																			
									合計					2,438	1.1																			
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																	
									H26	H27	H28	H29	H30																					
									合計					0																				
C 効果促進事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H26	H27	H28	H29	H30																					
									合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H26	H27	H28	H29	H30																					
									合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	32				
計画別流用 増△減額 (b)	2				
交付額 (c=a+b)	34				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	23				
翌年度繰越額 (f)	11				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 平群駅周辺地区都市再生整備計画 事業主体名: 平群町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	-
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	-
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○